

JICA・IDB Lab オープンイノベーションチャレンジ TSUBASA2021 取材記事が Forbes Japan に公開

～6億人の市場潜在性、中南米・カリブの開発課題を日本のスタートアップの力で解決せよ～

株式会社ドリームインキュベータ（東京都千代田区、代表取締役社長 COO 三宅 孝之、以下 DI）が協力し、独立行政法人国際協力機構（以下 JICA）、米州開発銀行（Inter-American Development Bank：IDB）グループのイノベーション・ラボである IDB Lab¹が開催した「オープン イノベーション チャレンジ TSUBASA（Transformational Start Ups' Business Acceleration for the SDGs Agenda）2021」について Forbes Japan による取材記事が公開されましたのでお知らせします。

- 媒体名 : Forbes Japan
- 掲載先リンク : <https://forbesjapan.com/articles/detail/46256>
- 掲載日 : 2022年3月22日（火）
- 担当 : 細野 恭平 / 宮内 慎 / 山口 友理子

■ 背景・概要

中南米・カリブ地域の SDGs に貢献し得る技術・サービス、またはアイデアを有する日本国内のスタートアップ企業の発掘・支援を行うべく、JICA と IDB Lab が共同で、「中南米・カリブ地域スタートアップ企業連携に係る情報収集・確認調査」を実施しました。DI は、株式会社パデコ、株式会社ブラジルベンチャーキャピタルと共同で本調査を受託しています。

「オープンイノベーションチャレンジ TSUBASA2021」は、中南米・カリブ地域における経済社会開発効果の大きい事業に取り組む日本のスタートアップ企業の発掘・支援を目的としており、同地域の SDGs 達成に資するソリューションのアイデアを募集するものです。2021 年 11 月に採択企業 8 社が選定されました。（採択企業の紹介動画は[こちら](#)）

採択企業は、インキュベーション・アクセラレーションプログラムを通じて、中南米・カリブ地域で事業に取り組むための準備や、同地域で事業を共創するための現地提携パートナーの探索を進めました。（成果報告会動画は[こちら](#)）

本記事では、JICA 井本佐智子理事と IDB Lab 竹内登志崇次長による対談を通じて、両機関による「TSUBASA2021」の取り組みの狙いや、日本国内のスタートアップの中南米・カリブ地域の SDGs 達成への貢献に対する期待が語られています。

■ DI が取り組む意義

当社は、グローバルな社会課題解決に向け、国内外のスタートアップ企業連携・革新的な金融スキーム活用を通じ、新たな途上国援助の形を協創するチャレンジを JICA と共同で推進しております。「社会を変える 事業を創る。」という当社ミッション実現に向け、社会インパクトのスケールアップに向けた官民連携・金融スキーム活用、大企業・スタートアップ間の連携による新事業創造により、グローバルでの社会課題解決イニシアチブを拡充・加速してまいります。

■ 株式会社ドリームインキュベータについて (<https://www.dreamincubator.co.jp/>)

戦略コンサルティングスキルという、ビジネスにおける最も普遍的で有益な根源的スキルと、インキュベーションで培われるリアルかつ当事者的な経営力を融合することにより、「社会を変える 事業を創る。」をミッションに、新たな事業や産業の創造・成長支援を行う「The Business Producing Company」。

¹ IDB Lab ホームページ : <https://bidlab.org/en>

【本リリースに関する問合せ先】

株式会社ドリームインキュベータ（担当：宮内、山口）

電話：03-5532-3200 / Email：info@dreamincubator.co.jp